



城北

城北小学校 学校だより
令和2年1月31日発行

八戸市立城北小学校
Tel 28-5461

令和2年 「子」年の始まり

校長 高谷 信行

穏やかな天候で始まった令和2年、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックの年が幕を開けました。新年の総理の年頭所感に、「人間、夢があるからこそ成長できる。いつの時代も『夢見る力』が大切」とあります。未来への躍動感あふれる子どもたち、新しい時代に向けた教育を力強く進めていきたいと思えます。

冬休み明けには、子どもたちに大きな事故もなく学びのスタートを迎えることができました。これからはとても大事なまとめの時期であり、新しい学年への準備の時でもあります。今の学年を終えてそれぞれ一つずつ学年が進級することから、しっかりこれまでの復習をし、次の学年に備えてほしいと思えます。

また、今年の十二支は『子(ねずみ)』です。冬休み明けの朝会では、子どもたちに次のようなこととお話ししました。『子』の年は、十二支の始まりであることから新しいことを始めるのにちょうどよいスタートの年です。また、ねずみはたくさん増えることから、何かが栄える年でもあります。今年も子どもたちにとってよい年であるように願っています。

学校では、1月21日に行われた地区の行事『ほがほが』で、地域の方に子どもの学びを支えてもらいました。『ほがほが』とは、「正月一五日福德を迎える行事として八戸地方では、米糠と炒り豆からとった皮とを柀に入れ、『もみがらほがほが そばのからほがほが まめのからほがほが とうふのからほがほが やらくら(福の神) 飛んでこ 銭も金も飛んでこ!』と唱えながら夕暮れにこれを撒いて歩いた。」と下長の民俗行事にあります。

1年生の『ほがほが』の行事の後は、地域の老人クラブの方々から昔遊びを教えていただきました。羽子板やお手玉、おはじき、こま回しなど子どもが夢中になる楽しい遊びばかりでした。また、お年寄りの方とも触れ合える豊かな体験となりました。

保護者・地域の方々には、今年もどうぞよろしくお願いたします。一部<<青森県八戸下長の歴史より>>



学校行事の紹介



3年 えんぶり教室	全校不審者対応避難訓練
<p>本校では毎年、3年生でえんぶり教室を行っています。石堂えんぶり組の田名部正光さんの御協力で本物の烏帽子をかぶったり、えんぶりの歴史を学んだり、楽しい時間を過ごしています。</p> <p>※校内えんぶり鑑賞会も予定しています。</p>	<p>3回目の避難訓練は、不審者対応でした。よく放送を聞き、教員の指示で動きました。1年生から6年生まで、真剣に「自分の命は自分で守る」訓練を行うことができました。</p>

2月の行事予定

2月 3日 (月)	安全点検日 城北小新入学児童保護者説明会 全校一斉道徳週間～7日
4日 (火)	全校朝会 委員会活動
5日 (水)	ベルマーク収集日
6日 (木)	会議日 短縮6時間授業 下長中保護者説明会
10日 (月)	★学費口座振替日★ 縦割りグループ活動日 代表委員会
11日 (火)	建国記念の日
12日 (水)	会議日
13日 (木)	音楽朝会
14日 (金)	JMS 児童生徒交流会 スクールカウンセラー来校日
17日 (月)	えんぶりの日 (お休みの日です。えんぶり鑑賞にお役立てください。)
18日 (火)	児童朝会 (委員会引継ぎ) 委員会活動 (6年生最終) 美化協調期間～28日
19日 (水)	城北小えんぶり鑑賞会
20日 (木)	参観日 (5時間学習) スクールカウンセラー来校日 愛好会連絡調整会議
22日 (土)	業者ワックス (1・2階廊下階段ワックス)
23日 (日)	天皇誕生日
24日 (月)	振替休日
25日 (火)	音読朝会 クラブ・委員会なし6時間学習
26日 (水)	卒業を祝う会
27日 (木)	下長中体験入学
28日 (金)	ぴかぴかワークタイム

<城北小えんぶり鑑賞会のご案内>

2月19日(月)に、石堂えんぶり組の皆さんが学校においてになり、えんぶりの舞を披露していただきます。13時30分から体育館で行います。保護者、地域の皆様も鑑賞をすることができますので、どうぞご都合をつけておいでください。※別紙申し込み用紙にご記入の上ご参加ください。電話等でも結構です。城北小教頭まで(28-5461)

<八戸市えんぶりの日>

昨年度から八戸市では、毎年2月17日を「えんぶりの日」と決めました。この日は、学校休業日となります。愛好会活動等も基本的に「なし」となります。市内えんぶり鑑賞にお役立てください。

子育てのヒント ～心理学者 河合隼雄氏が残した言葉から～	
<p>子育ては「苦楽しい」</p> <p>子育ては、「苦楽しい」。ものすごく苦しい。けれども楽しい。子どもに腹を立てたり、怒りをぶちまけたりしながら、結構うまくいっているのは、「苦楽しい」のだと思います。</p>	<p>先回りして一方的に話しかけない</p> <p>子どもが話しかけてきたときに、子どもの本当の声を聞かず、「よかったね。」「楽しかったでしょう。」とか、先回りして一方的に話しかけをしていませんか。ゆっくりと待って子どもの声に耳を傾けたら、子どもはもっと素晴らしいことを言ってくれます。</p>